

内壁の無い家

生活多様化、スピード社会、在宅時間の短縮化や家族関係の希薄化がうたわれるようになってからもう随分と時間が経ち今や当たり前となっていました。帰宅しても家族全員の顔を

見れないのも珍しくない。そんな在宅時間が短く、家族の生活時間もまちまちな現代人のための住宅を考えてみた。この住宅では主要用途を「家族に会う場所」と限定。

家族専用の広場のような空間を目指し、間仕切り壁、個室を作らず、在宅時ではできるだけお互いを視界の中に確保し、気配は常に感じられるようにした

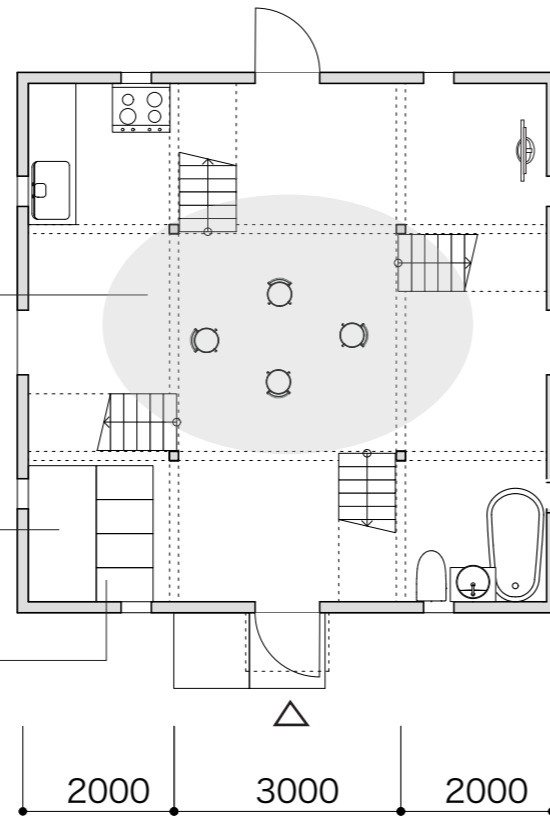
1階平面図

この辺りが「家族広場」

家具は全て可動。

可動押し入れ。

個人の持ち物はスーツケースに保管。このスーツケースのみ個人空間。

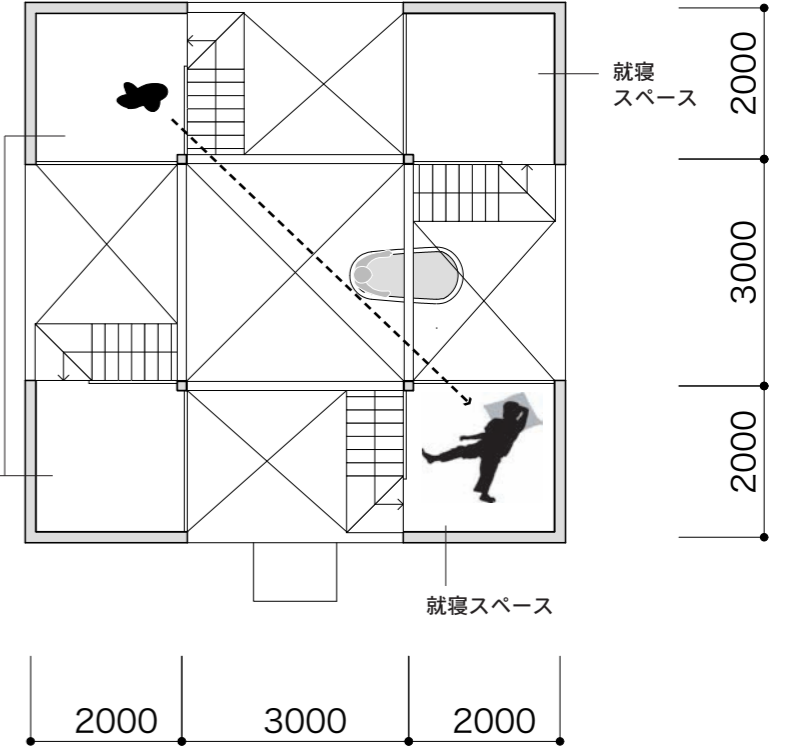


2階平面図

あっ！寝てる

就寝スペース

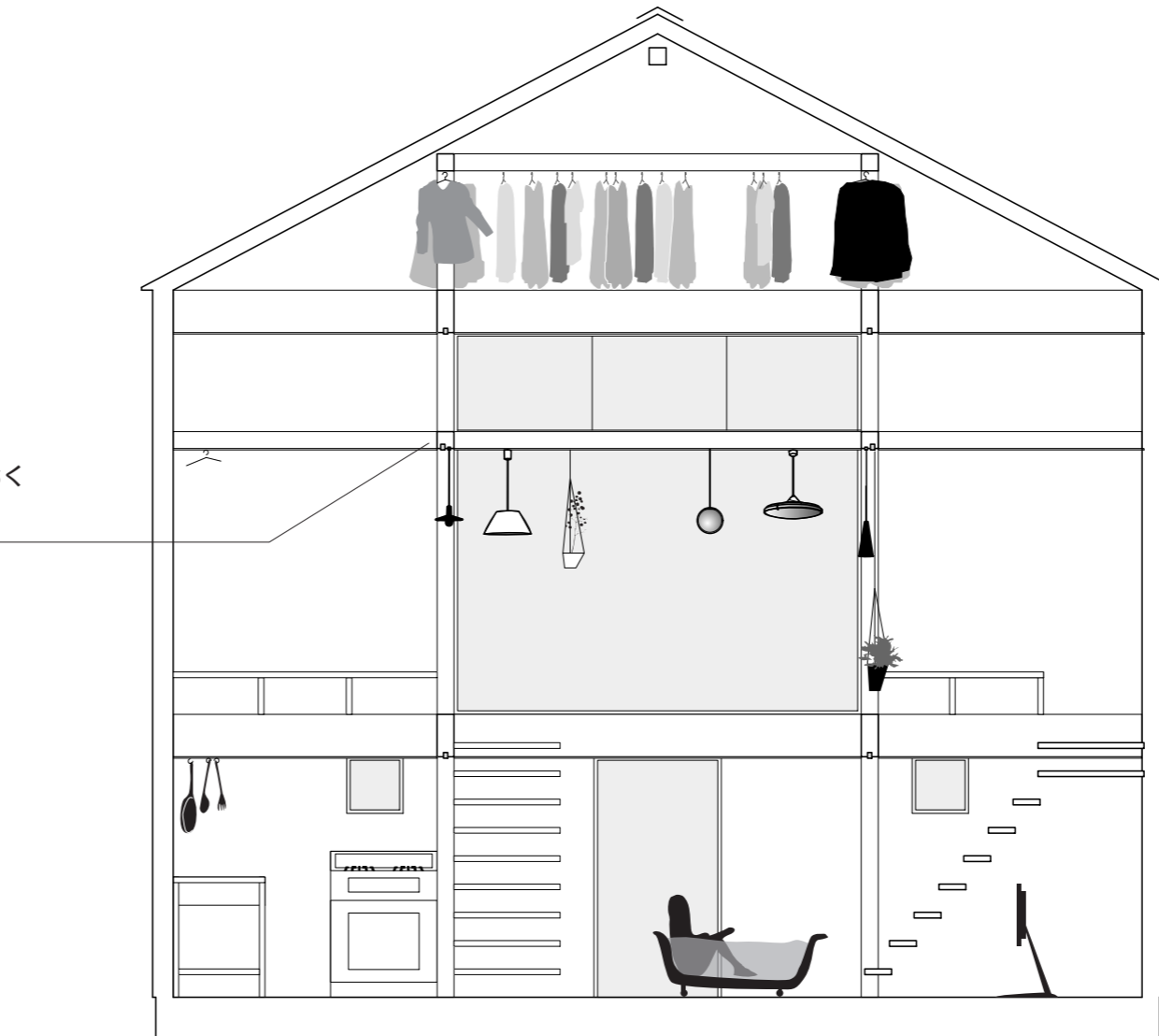
就寝スペース



断面図

押架材下端にレールを設置し、簡易収納とする
 使用中の物、利用頻度の高い物は低い梁にぶら下げておく
 シーズンオフの衣類等、使わない物は高い梁にぶら下げておく
 このレベルの梁には配線ダクトも取り付ける

バスタブもキャスター付き。
 一人のときは広場スペースでゆうゆうと入浴。



▼建物の高さ

2000

▼軒の高さ

3000

▼2FL

2000

▼1FL

300

▼GL